

むらた

村田 裾野市議会議員（無会派）

はるかぜ



Harukaze Murata



村田はるかぜ公式ページ

市議会報告 春のたより 特別号

（主に本会議での発言より抜粋）

市議会議員として2期の取り組み

新年あけましておめでとうございます
本年もどうぞよろしく願いいたします

市議会議員となり2期、今まで財政改革から社会基盤整備・高齢者福祉・子育て支援と様々な課題に果敢に取り組んでまいりました。

そして皆様とお話しをして感じたことは世代に関係なく、多くの方々がいろいろな面で「不安」を抱えていらっしゃるということです。私は皆様が抱える「不安」の解消に全力で取り組んできました。そして「不安」を「希望」に変えたい。私はそう考えています。

議員は皆さんからの大切な一票が積み重なり、皆様から一時的にお借り受けた立場だと考えています。そのことを決して忘れず、その立場に恥ずかしくないように愚直に「未来につながる持続可能な裾野」のため、自分は何ができるか考え、行動してまいります。

しかしながら、市議会議員では成し遂げられない課題等が多々あると感じている毎日です。今後どのような立場で市政に取り組んでいくかも含め山積する課題に果敢に取り組んでまいります。ご支援宜しくお願い致します。

はるかぜ

村田 悠

駅西区画整理事業の再考について

財政改革

進捗率は約40%と期間内に事業が終了せず、平成30年度から平成42年度までに事業が延長。事業費も190億から220億に変更した事業に対し、市民への意見聴取の方法を駅西地区住民だけでなく、**市全体の住民がこの事業を、本当に必要としているかを調査すべきと提言してきました。**

公共下水道整備について

財政改革 防災対策

下水道会計決算では、約11億の事業費用のうち約5億が**一般財源からの繰り入れ、約3億が市債の発行による事業運営であり、利用者負担で賄えていない事業である。**今後、経営改善をすること、実施区域や計画区域に入っている地域の規模を縮小し**公共下水道並みの汚水処理能力を発揮し、財政負担の少なく災害に強い汚水処理システムの導入などに舵を切るよう提言してきました。**

自動運転や先端技術導入について

基盤整備

全国に先駆け自動運転など、将来を見据えた交通環境を整備するため、地元企業と連携し、**「国家戦略特区」や「内陸フロンティア推進事業」を活用し、先進企業のある当市ならではの「先進技術と共に進化する最先端まちづくり」を推進**するよう、トヨタ自動車の未来都市発表以前から提言をしてきました。

新美化センター計画について

環境整備

令和6年度までに、建て替え工事を行う基本計画を策定している。炉の新築工事は**40年に一度の約100億の税を投入する大事業**。ごみ処理方法には、多くの技術があり、排熱の利用や発電による売電など、質量あたりの処理金額の軽減方法があります。私は、**エネルギー回収効率に優れなお、国からの交付金割合が高い炉（バイオガス発電炉）の選定**を提言してきました。

根拠のない随意契約の明確化について

行政改革

一般競争入札が出来ないとする随意契約が数千件ある。その中でも1億円を超える契約について（ゴミ運搬委託）が主たる理由もないまま、契約を更新し続けられている経緯があった。このことについて追及をはじめ、**全ての随意契約に随意契約理由書を導入し契約根拠を明確にし、ゴミ運搬委託については総合評価方式による一般競争入札への道筋をつけました。**

職員の時差勤務導入について

行政改革

時差出勤で**市職員の勤務形態を選べるものとし、夜間会議や窓口延長で残業しなければならない場合の対応を、出勤する時間を遅くすることで残業に回さず、残業を抑制し、残業代の縮減**をもたらしました。

（主な内容を議事録より抜粋）

令和2年度当初予算と下水道特別会計（高村謙二市長から提出された予算案）について反対しました。

・**駅西の区画整理事業について** 駅西区画整理事業は、平成9年7月11日に都市計画決定をし、190億円の計画事業費でスタート、現在進捗率は49.37%、歳出合計は94億余り。その後事業費は220億に増えることになり、その差額30億は裾野市の一般財源で補填をするという形になりました。私は今の市の現状を見て、和歌山県の橋本市に視察に行ってきた。この市では、補助金に係る予算執行適正化に関する法律第10号、自治体の客観的・事情変化の適用により、事業縮小や、やむを得ない事情の変化の適用を受けた場合、交付金を返還しないで、区画整理事業を中止したという事例を学ぶことができました。このような事例も踏まえ駅西区画整理事業についての再考を質問もさせていただきましたが、中止する考えもなければ、リスクマネジメントの観点からも、駅西区画整理事業を見るつもりはないと答弁をいただきました。何故、**平成初頭の事業を財政が厳しいと言っているこの時代に再考もなく、またリスクマネジメントの観点からも再検討をしないのか、**また市全体にこの事業に対する意見を聴取しないのか私には全く理解できません。よって反対します。

・**下水道特別会計について** 現在の市の財政状況を考えれば、整備面積を令和5年度の県の流域総合計画再考の変更を待たずに、**早期に整備区域の面積縮小が必要である**と考える。また、令和2年度予算案にも公共下水道計画区域の市街化で**公共下水道実施区域に含まれない市街化区域（千福が丘）に関しての方向性が示されなかったこと**も含めて、反対します。

裏面は次のステップで私が取り組む主な政策一覧です